

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	主要地方道飯田富山佐久間線				
事業箇所	愛知県北設楽郡豊根村富山地内				
事業のあらまし	<p>主要地方道飯田富山佐久間線は、長野県飯田市を起点とし旧富山村を經由し、静岡県浜松市（旧佐久間町）に至る延長 92km の路線であり、山間部の暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は線形が悪く、狭隘の区間で車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている。また、路線の一部区間が第二次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>このため、「山間や離島などの暮らしを支える基盤整備」、「地震・津波対策の強化」を主な目的として、富山地区のアクセス性の向上、そして、大規模災害時等に高規格道路等へのアクセス性を向上させて円滑な救援・復旧活動を行うため、主要地方道飯田富山佐久間線の現道拡幅整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>(2) 地震・津波対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H18)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	平成 18 年度～34 年度	平成 18 年度～34 年度		
	事業費（億円）	10.5	10.5		
	経費内訳	工事費	9.7	9.7	
		用補費	0.1	0.1	
		その他	0.7	0.7	
事業内容	現道拡幅 L=0.9km W=5m 1車線	現道拡幅 L=0.9km W=5m 1車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現道は線形が悪く、狭隘の区間で車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている。 ・ 当該路線は豊根村役場と豊根村役場富山支所を結ぶ地域の生活道路として機能しており必要性は高い状況である。 ・ 第二次緊急輸送道路に位置付けられており、当該工区の拡幅により緊急輸送道路ネットワークが強化される。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>①山間や離島などの暮らしを支える基礎整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 線形が悪く、狭隘の区間で車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっているため、依然として必要性は高い状況である。 ・ 平成 27 年 3 月に富山小中学校が廃校となり、統合された小中学校へのスクールバスの経路となっていることから、事業の必要性は高くなった。 <p>②地震・津波対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次緊急輸送道路に位置付けられており、当該工区の拡幅により緊急輸送道路ネットワークが強化されることから、必要性は依然として高い。 			

②事業の進捗状況及び見込み		【変動要因の分析】 ・スクールバスの経路となったことから、事業の必要性が増大している。																																																																																																																				
	判定	A A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。																																																																																																																				
		【理由】 依然として、線形が悪く、狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であるとともに、平成 27 年よりスクールバスの経路となったことから、事業着手時に比べ事業の必要性が増大している。																																																																																																																				
	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th colspan="2"></th> <th>H18~ H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td colspan="9">←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業費 (億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="5" style="border: none;"></td> <td colspan="4">3.0</td> <td colspan="2">1.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="5">6.0</td> <td colspan="7" style="border: none;"></td> </tr> </tbody> </table> 【進捗率】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>-</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>-</td> <td>6.0</td> <td>-</td> <td>10.5</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>-</td> <td>5.3</td> <td>-</td> <td>9.7</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>-</td> <td>0.6</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>86%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、100%</p>			H18~ H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	工 種 区 分	調査・設計	↔											用地補償	↔											工事		←————→										事業費 (億円)	計画						3.0				1.5		実績	6.0													これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	-	0.0	-	0.9	0%	事業費(億円)	-	6.0	-	10.5	57%	工事費	-	5.3	-	9.7	55%	用補費	-	0.1	-	0.1	100%	その他	-	0.6	-	0.7
		H18~ H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34																																																																																																										
工 種 区 分	調査・設計	↔																																																																																																																				
	用地補償	↔																																																																																																																				
	工事		←————→																																																																																																																			
事業費 (億円)	計画						3.0				1.5																																																																																																											
	実績	6.0																																																																																																																				
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																		
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																	
延長(km)	-	0.0	-	0.9	0%																																																																																																																	
事業費(億円)	-	6.0	-	10.5	57%																																																																																																																	
工事費	-	5.3	-	9.7	55%																																																																																																																	
用補費	-	0.1	-	0.1	100%																																																																																																																	
その他	-	0.6	-	0.7	86%																																																																																																																	
2) 未着手又は長期化の理由	・完了予定年度に変更なし。																																																																																																																					
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・地元より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 ・平成 34 年度までに整備が完了する予定である。																																																																																																																					
判定	A A： 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B： 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因																																																																																																																					

		<p>が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は順調であり、予定通り平成34年度までに整備完了が見込まれるため。
Ⅲ 対応方針		
	継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度 		